

令和7年度近畿建設リサイクル表彰

大 賞

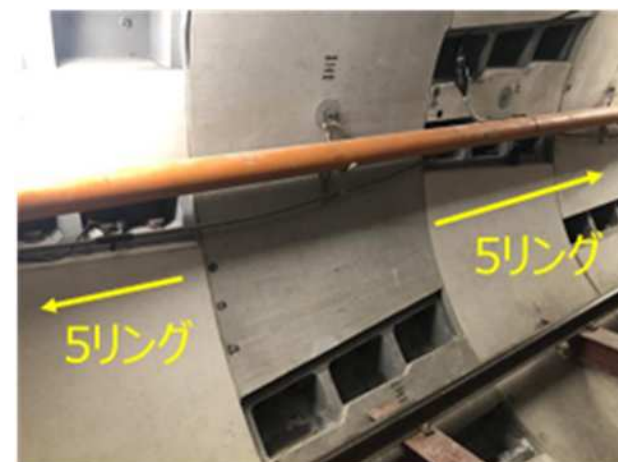
大成建設・村本建設・中林建設共同企業体

寝屋川流域下水道門真守口増補幹線(第2工区)下水管渠築造工事

CO₂を大幅に削減可能としたT-eConcrete の下水管渠施設への初の適用

① CO₂排出量を削減するコンクリートの下水道管渠施設への初適用

- ・高強度セグメントの使用したコンクリートの一部に、セメント使用量をゼロに削減し高炉スラグに転換(消石灰と膨張剤で結合)。
- ・さらに炭酸カルシウムを混合することで更なるCO₂排出量削減を図った高強度セグメント部材を下水管渠に国内で初めて適用。
- ・発注者(大阪府)と協議して、適用箇所もモニタリングしやすい場所とし、供試体及びセグメント実体で3年経過後の状態に異常なし(最終的に5年経過まで観察予定)。
- ・産業副産物の使用量(0.431 t/m³)は、通常コンクリート(0.207 t/m³)よりも多く、資源循環にも貢献。



高強度シールドセグメント
設置場所